

「長浜曳山祭の曳山行事」はユネスコ無形文化遺産登録候補です

〈企画展〉

孔雀山を飾るもの

平成27年

5月11日(月)～6月14日(日)

■会期中無休

■開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）

■入館料：大人600円、小中学生300円

（団体20名様以上2割引）

※長浜市・米原市の小中学生は無料

■主催：公益財団法人長浜曳山文化協会



孔雀山を飾るもの 〈企画展〉

長浜曳山祭の曳山を華麗に装飾する飾金具かざりかなぐは、江戸時代後期から明治時代にかけて制作されたもので、全国各地に残された数多くの曳山の中でも、極めて精緻な作品が残されています。飾金具とは、曳山の舞台前柱だいこうりょう、大虹梁、高欄、破風板など各所を飾る金具の総称で、国友の国友一徳いっとく（藍水堂）や膳所の奥村菅次すがじなど優れた金工師たちによって制作されたことが判明しています。その最大の特徴は、消鍍金けしめつきと呼ばれる技法を用いている点で、金と銀と金剛砂こんごうしゃを混ぜ合わせたものを金属の表面に塗って炭火で焼き、濃い黄色の鍍金を行うことにより、曳山の金工品の表面に独特の風合いを出しています。

今回の展示では、昨年度の孔雀山の解体修理によって、曳山を彩る数多くの飾金具を間近にご覧いただけます。美術的に優れた作品を生み出す、長浜独自の伝統的な金工技術の粋を感じていただければ幸いです。



孔雀山（神戸町組）



高欄架木



高欄束金具



破風板金具（孔雀）

獅子頭

主な出陳資料

- 1) 舞台屋根獅子頭
- 2) 舞台屋根棟飾（孔雀）
- 3) 舞台屋根正面大唐破風 破風板
- 4) 亭屋根背面獅子頭
- 5) 亭側面花頭窓飾金具
- 6) 舞台高欄飾金具

ほか

孔雀山の修理

現在、曳山博物館修理ドックでは孔雀山の解体修理が行われています。



NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

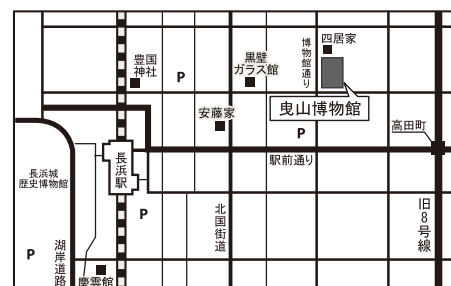
[TEL] 0749-65-3300 [FAX] 0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

入館料			
	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	障がい者手帳 の提示で本人と 介護者1名

*長浜市・米原市の小中学生は無料

- 9時～17時（入館は16時30分まで）
- 休館日：年末年始（12月29日～1月3日）



●JR長浜駅から徒歩7分 ●長浜ICより車で10分